

— プロフィール —

- ・奥村英世（オクムラヒデオ）
- ・1960年3月25日生
- ・出身地：愛知県岡崎市

- ・株式会社コットンテール 代表取締役
URL： <http://www.cottontail.co.jp>
- ・公益社団法人 日本歯科技工士会 常務理事
政策推進A委員会 委員長 歯科技工所運営対策担当
- ・一般社団法人 愛知県歯科技工士会所属

- ・日本歯科大学東京短期大学（日本歯科大学附属歯科専門学校）卒
- ・早稲田大学 在学中

（一社）山梨県歯科技工士会

生涯研修テーマ

『歯科技工所経営の基本と歯科技工所届出整備推進事業の意義と目的』

山梨県歯科技工士会生涯研修

『愛・Love・デンチャー』

公益社団法人 群馬県歯科技工士会会員

(有)カナイナビデント 金井孝行

抄録

高齢化社会を迎えて、いまだに景気の回復がなかなか進まない。さらに歯科技工界は、デフレや若い歯科技工士の離職等で良い状況とは考えられない。

しかし、患者の歯科治療に対するニーズは老若男女を問わず高まっている。ニーズに応える様に現在ではインプラントが、増えて来ているがリスクもあり、すべてのケースに対応が難しい。

そこで、注目するのがデンチャーだと考えます。

私の講演テーマが、『誰でも簡単にわかる・できるメタルフレーム』としてメタルフレームデンチャーの講演等を若手の歯科技工士及びビギナーに向けて発信してきました。

そして、歯科技工士がデンチャーを作る楽しみを知り好きになって頂きたいので、『愛・Love・デンチャー』をテーマにしました。

また、メインテーマと別に、もう一つサブテーマとして Harmony of the Oral Cavity (口腔内の調和) を考えています。

今回は、サブテーマの Harmony (調和) の大切さを同時に伝えたい。

多分誰もが日常メタルフレームの設計 (スタンダードデザイン) を行なう上で何度か考え込んだ事があると思います。しかし設計は歯科医師が行なうのですが、デザインを知る事でアドバイスができ、コミュニケーションがとれ歯科医師と信頼関係が生まれます。

デザインの目的として口腔内に、メタルフレームデンチャーをセットした時に、痛い事、口腔内が狭くならない事 (違和感、舌感など)、舌感とは (メタルフレームデンチャーをセットした時に患者が舌で触れる凹凸)。その時に必要以上の凹凸と圧迫感、痛みを感じると不安になり、なかなかメタルフレームデンチャーを受け入れてもらえなくなる。そこで、セット時の第1印象を良くする為のスタンダードデザインを考える。

この様なメタルフレームをシステム化してより速く、正確に、簡単に製作する方法をお話し出来たらと考えます。

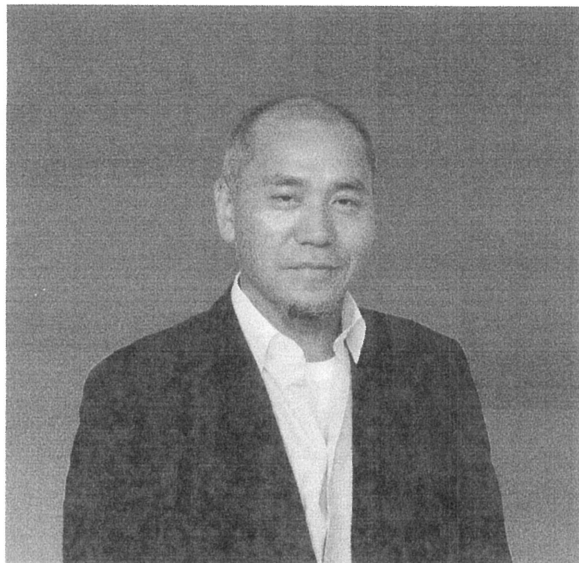
私自信の口腔内で現在使用しているデンチャー体験を、私自身が患者の立場で感じたデザイン等の注意点を、伝える事で皆さんが少しでも、患者のニーズに応えられるプロの歯科技工士になれると考えます。

講演の参加をお待ちしています。

略歴

- 1957年12月 群馬県高崎市生まれ
- 1981年03月 歯友会歯科技術専門学校専修科卒業（現在 明倫短期大学）
- 1981年04月 株式会社 クリスタルデント入社
- 1987年02月 有限会社 カナイナビデント開業
- 1998年04月 社団法人 日本歯科技工士会 認定講師
- 2002年05月 社団法人 群馬県歯科技工士会 会長
- 2003年04月 明倫短期大学 臨床教授
- 2013年04月 公益社団法人 群馬県歯科技工士会 会長

KanaiNaviDent co,LTD



今やるべきこと ～ 歯科技工士によるQOL向上支援 ～

公益社団法人 群馬県歯科技工士会会員

株式会社 萩原歯研

エピテーゼ制作室・主任 萩原圭子

弊社では、先天性異常や事故による外傷、癌などの疾患の治療によって生じた身体的欠損のある患者に対してシリコーン製エピテーゼを使用した審美的回復を行うとともに、エピテーゼを装着する患者の抱く喪失感、精神的苦痛を取り除くことにより QOL (Quality of Life: 生活の質) 向上の支援を行っています。

外観の審美的回復の方法は顎顔面補綴に限らず全身におけるエピテーゼ製作や様々な原因により生じた傷や痣を目立たなくさせるリカバリーメイクなどの特殊なメイクアップ法があげられます。今回はエピテーゼを製作することにより、患者やその家族の精神的苦痛を和らげることができ、QOL 向上支援に貢献できることをご報告いたします。

また、エピテーゼ製作において、製作技術者と医療機関や医療従事者との連携、患者やその家族との信頼関係がいかに大切であることを認知していただくことにより、欠損患者にとってより良い環境作り、より良い支援が出来ることを理解していただきたいと思います。

略歴

1978年 群馬県高崎市出身

1998年 埼玉歯科技工士専門学校卒業、同年(有)みずほ歯研勤務

2004年 (株)萩原歯研勤務

2011年 群馬県初となるエピテーゼ制作室 Medical Lab K を設置

2014年 公益社団法人日本歯科技工士会認定講師登録

